

題名「環境保全に関する電子画像による基礎データの収集」報告書

事務長付

実験教育支援センター兼務

竹内有次

目 的

大学の危機管理体制の甘さが指摘されることが多く、その事故の内容からも改善が求められている。今回、理工学部における環境保全と防災面における問題点を抽出し、その基礎データを電子化することにより、継続的な改善が円滑に行われることを目的とした。

既存の管理体制の改善計画

これまでの行政からの調査や自主管理の調査・集計などは紙ベースで行われていた。今回、これら環境保全等に係る業務を電子化する作業を行った。基礎データを管理するシステムは下記の内容を整備した。

1．集中管理のためのシステム構成

コンピュータ 1 台・スキャナー 1 台・デジカメ 1 台及び周辺機器

環境保全メールアドレス：環境保全 epc2002@educ.cc.keio.ac.jp

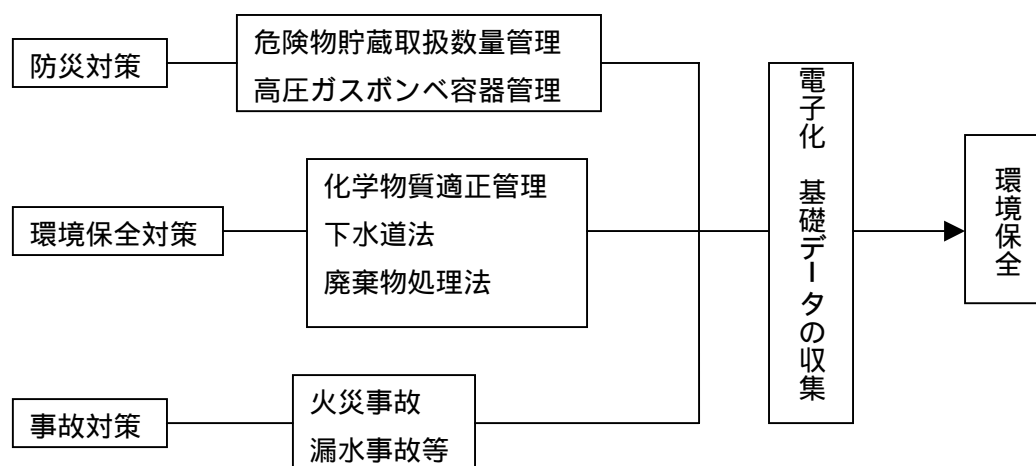


図 1．環境側面の抽出

2．環境保全に係る活動の電子化作業の実施（理工学部内の環境側面を抽出）

環境側面を分類するにあたり 3 部門に分類した。

防災対策：消防法に適合した危険物の貯蔵取扱いの管理と高圧ガス保安法に適合した管理。特に高圧ガスボンベ容器の貯蔵及び回収の把握。

環境保全対策：環境負荷問題に把握

1）下水道及び水質汚濁法に対する対策

- 2) 化学物質の適正管理対策
- 3) 廃棄物処理問題（実験廃液等に関して）

事故対策（危機管理問題）

- 1) 火災事故後の処理
- 2) 有害物質の排出問題の対策と指導
- 3) 関係法規に関する適合性の問題
- 4) 漏水事故対策

3. 電子データ化によりの成果報告

- 1) 火災事故時の報告書の作成
- 2) 下水道法・水質汚濁法の水質分析の集計、解析に活用
報告書の作成
 - ・ 2002 年・2003 年火災事故報告「回答書」の作成
 - ・ 下水道局 ジクロロメタン・フェノール類の指示書の回答報告
- 3) 発 表
 - 18 回大学等環境安全協議会技術分科会（熊本大学）
理工学部高圧ガス取締規定に基づく自主管理報告
 - 18 回 夏期研修・研究会 私大環境協議会
薬品管理システムの構築事例報告
- 4) レポート報告
 - 塾監局紀要 2 0 0 2 No.29 研究・調査・情報レポート
理工学部における環境保全の継続的改善計画
 - 塾監局紀要 2 0 0 3 No. 0 0 研究・調査・情報レポート
理工学部における環境保全の継続的改善計画 II